

# 要望書

坂本パーキングエリアへの  
スマートインターチェンジ設置について



令和7年7月  
熊本県八代市



国におかれましては、球磨川流域で発生しました令和2年7月豪雨災害に際し、発災直後から、迅速な先遣隊の派遣や早急な支援物資の提供、被災者の救助活動、道路の啓開や応急復旧、さらには仮設橋梁の設置など、全力で災害初期対応にご尽力いただきました。

更にその後におきましても、道路や橋梁などの本復旧に向け、最大限の取り組みを実施いただいておりますことに、心より深く感謝申し上げます。

豪雨災害により、本市の坂本地域では国道や県道といった幹線道路はもとより、市道などの生活道路も崩壊や土砂崩れ等により寸断され、さらには鉄道橋を含む4つの橋梁が流失し、一時的に多くの集落が孤立しました。

そのような中、発災後、九州縦貫自動車道の坂本パーキングエリアに臨時的な自動車の出入口を設置していただいたことにより、孤立した住民の救助や避難、被災状況の調査や復旧作業、さらにはボランティア活動などが可能となり、地域の復旧・復興に大きな役割を果たしています。

しかしながら、九州縦貫自動車道の八代インターチェンジから人吉インターチェンジまでの間は、38.5 kmと日本一距離が長い区間となっており、その間の球磨川流域の山間部に坂本地域が位置していることから、かねてより高速道路へのアクセスが課題となっております。

豪雨や地震などにより、地域の道路が寸断されるような大規模災害の発生を想定し、代替ルートを確保しておくことが、住民の救助や避難、緊急支援物資等の輸送のために必要不可欠であり、国土強靱化の一環をなすものであると改めて実感した次第です。

現在、復旧工事に加え緊急治水対策事業が本格化するのに伴い、球磨川両岸の道路に工事用車両の往来が増加するとともに、片側交互通行や迂回路通行に加え、夜間の全面通行止めが行われるなど、地域住民の生活車両との混雑に拍車がかかる状況となっております。

このことは、復旧工事や生活再建に支障を来すことも懸念されることから、高速道路への工事用出入口を利用したアクセスを確保しておくことが、円滑かつ迅速な復旧工事や安全・安心な住民生活を確保するためにも極めて重要であると考えております。

また、本市が策定した「八代市坂本町復興計画」及び「八代市坂本町復興まちづくり計画」に基づくまちづくりを進める上でも、観光振興や交流人口の増加を図る必要があり、球磨川の恵まれた資源を活かし、地域の持つ潜在能力を最大限に発揮するためには、国道219号に加え恒久的なスマートインターチェンジの設置によるダブルネットワーク機能の強化が重要となります。

つきましては、下記の事項について特段の御高配を賜りますようお願いいたします。

## 記

1. 復旧復興促進のため、九州縦貫自動車道の坂本パーキングエリア上り線に整備中の工事用出入口を、先に完成した下り線同様に地域住民等が利用できるようお願いしたい。
2. 上記、工事用出入口を活用し、将来、九州縦貫自動車道の坂本パーキングエリアに恒久的なスマートインターチェンジの設置をお願いしたい。

令和7年7月

八代市長 中村 博生